

就職活動を終えて

アジア文化学科4年 川 内 浩 歌

就職活動の中で、企業と出会う方法は様々あります。例えば、就活サイトや就活サイトを運営している企業が開催する合同会社説明会、それぞれの企業のホームページ、筑女に来る求人票、筑女の先輩方が実際に働いていらっしゃる企業、家族や知人からの紹介などが挙げられます。しかし、実際には、これらの他にもたくさんある方法があるだろうと思います。

私は3年生の6月に就活を始めました。始めた、と言っても、当時は進路支援課のキャリアガイダンスや昼休みに行われていた4年生の先輩方による先輩リレーゼミへの参加程度でした。進路支援課の職員の方々や先輩方のお話を聞く中で、世の中には多種多様の業界、企業等があることを知りました。また、先に述べたように企業と出会う方法が様々あることを知ったのもこの時でした。

10月に入り、進路支援課主催の保護者同伴ガイダンスへ出席し、私の就活が本格的に始まりました。ガイダンスで配布された筑女の先輩方の就活記録『アヴニール』も、今まで知らなかった企業と出会う方法の一つでした。私は志望する業界が特に定まっていなかったので『アヴニール』を読み、興味を持った企業の採用情報を確認しました。

実際にリクルートスーツを着て活動したのは12月に開催された合同会社説明会からです。12月末に進路登録票を進路支援課へ提出し、個人面談を受け、2月には就職合宿へ参加しました。その後、単独説明会に初めて参加した企業は、合同会社説明会でブースに立ち寄ったことがきっかけで出会った企業でした。それから就活を終えるまでの半年間、様々な方法で約100社の企業に出会い、15社の採用選考を受けました。

7月に内定をいただき、入社予定企業は、私がよく利用している商業施設の管理・運営をしている企業です。買い物へ行こうと思い商業施設のホームページを見た際、隅の方に“採用情報”と書いてあるのを偶然見つけた事がきっかけでした。

これまで述べてきたように、企業と出会う方法は本当にたくさんあります。時には自分で考えもしなかったところに出会いの場があるかもしれません。ぜひ、様々なものに目を向けてみてくださいね。